

**製品名: ATE1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe84089**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200
分子量	59 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATE1
別名	Arginyltransferase 1; Ate1; R transferase 1;;Arginyltransferase 1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	O95260
免疫原	ヒトアルギニルトランスフェラーゼ 1 由来の合成ペプチド

**背景**

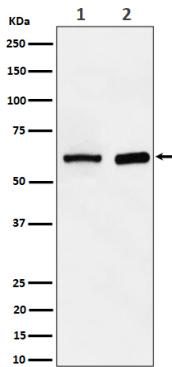
タンパク質の N 末端アスパラギン酸またはグルタミン酸へのアルギニンの翻訳後抱合に関与する。このアルギニン化は、ユビキチン

経路を介したタンパク質の分解に必要である。システイン残基はアルギニン化しない。

## 研究分野

-

## 画像データ



(1) HepG2 細胞溶解物、(2) マウス脾臓溶解物における ATE1 発現のウエスタンブロット解析。